

## 臨床研究に関するお知らせ

東京大学医学部附属病院 血管外科では、病気で困っている患者さんの治療法を向上させるため、東京大学大学院医学系研究科とともに、下記の臨床研究を行いたいと考えています。研究を行うにあっては、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしも下記の研究内容に該当すると思われた方で、ご自身の検査データなどが用いられることにご質問などのある方やご同意を頂けない方は、下記の連絡先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

「閉塞性動脈硬化症における個別化医療の実現」

### 2. 研究の目的

閉塞性動脈硬化症（以下 ASO と記します）は、動脈硬化が進み、足の動脈が細くなったり、詰まったりして、十分な血液を運ぶことができなくなる病気です。そのために、足が冷たくなったり、歩行時に下肢のしびれを生じたりします。さらに、進行すると足の指先が痛くなったり、壊死に陥ったりすることがあります。

一般的に高齢者、男性、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、肥満などの「危険因子」を持っている人に動脈硬化は生じやすいといわれていますが、その発生のメカニズムは十分には解明されていません。「危険因子」を持っているからといって必ずしも動脈硬化が生じるわけではなく、個人によって大きなばらつきがあります。

また、動脈硬化を予防または治療するために様々な薬剤や治療法が開発されていますが、同じ治療を受けているにも関わらず、その有効性にも大きな個人差が見られます。

私たちは、動脈硬化が原因で生じる血管疾患 ASO について、病気の生じ方、予防効果、治療効果の個人差が生じる原因として遺伝子の差が重要であるのではないかと考え、遺伝子研究を行い、一定の成果を得ております。さらなる病態の理解のため、新たな研究を予定しております。

### 3. 方法

先行研究において採取した血液検体から抽出した DNA を利用します。DNA には実際にタンパク質へ翻訳される部分（エクソン）とそれ以外の部分があります。遺伝病の多くはエクソンの塩基配列変化が原因と考えられております。全エクソンを分離抽出し、その塩基配列を決定し、ASO である方に特徴的な遺伝子変異があるかどうかを比較検討いたします。

### 4. 研究の対象

東京大学医学部附属病院および協力施設にて、ASO と診断され、先行研究にて同意を頂い

たうえで採血を頂いた患者さんの一部が対象となります。

#### 5 . 被験者の実体験

本研究は、過去に頂いた血液サンプルから行われるため、新たな検査や治療が本研究のために行われることはありません。

#### 6 . 研究が行われる機関または実施場所

東京大学医学部附属病院ゲノム医学センターおよび理化学研究所にて行われます。

#### 7 . 研究における倫理的配慮について

人権への配慮（プライバシーの保護）

本研究実施に係る原資料類及び同意書を取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書、学会発表、学術論文においては、被験者を特定できる情報は含めません。もしもこのホームページで公開した本研究内容をご覧になり、研究対象となることに同意されないと連絡された方は研究対象には含めません。被験者ご本人またはご家族の中で、本件にご質問のある方、研究対象となることに同意されない方は下記にご連絡くださいますようお願いいたします。

研究対象となった方は今後もこの研究のために新たに治療や検査を受けることはなく、医療費がかかることはありません。また研究協力に対して謝礼が支払われることはありません。

#### 8 . 本研究に関する連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院 血管外科

重松 邦広（研究責任者） 木村 賢（担当者）

TEL：03-5800-8653 内線：34703 FAX：03-3811-6822